

品種 味噌、納豆、煮豆向け極早生大豆「ユキホマレ」

大豆品種「ユキホマレ」は味噌、煮豆、納豆適性が高く、**極早生**で県南部では小麦収穫後の極晩播に、県北部では6月中旬以降の極晩播に適します。

表1 標準播種期における「ユキホマレ」の主な特性（岩手県農業研究センター：北上市、H11～H16）

品種・系統名	ユキホマレ	ワセスズナリ	スズカリ	来歴
開花期(月/日)	7/9	7/13	7/26	母親：十系783号
成熟期(月/日)	9/11	9/19	10/14	父親：十系780号
主茎長 (cm)	43	51	71	交配年：平成2年
稔実莢数(莢/m ²)	542	679	679	育成地：北海道立十勝農試
子実重 (kg/a)	26.7	29.1	35.3	
対標準比 (%)	92	(100)	-	
対比較比 (%)	76	82	(100)	
百粒重 (g)	30.1	22.4	31.4	
外観品質	中下	中中	中中	
倒伏程度	無	小	小	
最下着莢高(cm)	11.5	13.1	12.5	

・熟期は「ワセスナリ」より8日早い。収量性はやや低い但百粒重は「スズカリ」並の大粒。耐倒伏性は強い。

表2 県南部における極晩播での生育・収量（北上市：H14～16年）

播種期(月/日)	栽植本数(本/m ²)	倒伏程度	成熟期(月/日)	主茎長(cm)	最下着莢高(cm)	子実重(kg/a)	百粒重(g)	外観品質
7/3	22.2	微	10/7	35	12.7	28.6	31.8	中中
"	33.3	小	"	40	15.5	30.6	32.9	中中
7/22	22.2	微	10/16	36	12.0	21.6	30.1	中上
"	33.3	微	"	39	13.7	25.0	30.8	中上

・紫波町以南の県中南部では、麦収穫後の7月上旬から7月中旬にかけて播種し、栽植密度は22.2本/m²～33.3本/m²(7月中旬播種は33.3本/m²)の狭畦密植(畦幅30cm前後)とします。

表3 味噌加工適性(平成14、15年産 県内味噌業者：S社による仕込み評価)

蒸煮後評価(1-悪い～5-良いの5段階評価)					味噌評価			総合評価	その他の評価	
色	光沢	舌触り	味	皮の硬度	風味	色	風味	味		
5	4	5	5	5	4	5	5	5	5	色は明るく、つやがある

・味噌加工適性は高い。納豆加工適性は「スズカリ」より優り、煮豆の硬さは「スズカリ」「ナブシメ」より軟らかく重量増加比は高い(データ省略)。

留意点

- ・ダイズモザイクウイルスの抵抗性は不明ですが、抵抗性を有しないと考えられることから、アブラムシ防除は通常通り行って下さい。
- ・県南部における麦後栽培での施肥方法については現在検討中ですが、当面は麦後極晩播「ワセスナリ」並の窒素量6～9kg/10aとして下さい。



ユキホマレと他品種の子実